

甲東中学校区における 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時: 令和4年11月21日(月)18:00~19:00

場所: センテラス天文館

令和5年2月

鹿児島市 市民協働課

市長と語る会(甲東中校区)対応方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	甲東中学校PTA執行部	<p>天文館公園で、8時ごろから夕方5時ごろまで、あずまやを占領して、年配の方が毎日酒を飲んでいる。椅子に座っていればまだ良いが、床に座って、散らかし、だらしなく飲んでいる。</p> <p>2グループあり、警察に相談をしてもルールがないので取り締まれず、彼らも開き直って、全く改善が見られない。</p> <p>できれば、条例などで飲むことを禁止できないか。夜は構わないと思うが、昼に子どもが遊んでいる近くで、大人が飲んでいる状況は、海外では考えられないと聞いている。</p> <p>何とか、見直しができるか、もっと子育てのしやすい街になるのではないかと考えている。</p>	<p>天文館公園では従来から飲酒によるトラブルが多いため、平成29年からあずまやなど一部の区画では飲酒を禁止しているが、一部の方がルール、マナーを守られていない状況である。</p> <p>街中の公園のため、ルール・マナーを守って、街の空間を楽しんでいただくのが一番良いと思うが、一部のマナーを守れない方によって、みんなが使いにくい公園になることを懸念している。</p> <p>まずは、トラブル防止のために引き続き警察と連携を図りながら、職員による見回りを強化していくが、イベントでの使いやすさや、利用者がお酒を楽しむことも含め、憩いの場としての機能と、マナーを守れない方々にどうルールを守ってもらうか、両立するルールの検討をしていきたい。</p> <p>また、迷惑をかける方々に、ルールを守れないと結果として全面禁止になり、みんなが使いにくい公園になるということも含めて注意をしていきたい。</p>	建設局	<p>【建設局】</p> <p>市長回答のとおり。</p> <p>これまでも、あずまや付近に注意看板を設置するなど対応してきたが、さらに、ホームページや公園利用のきまり看板の記載内容の見直しを行い、公園利用のマナー啓発を図るとともに、引き続き、警察と連携を図りながら職員による指導を行うなど、市民の方が利用しやすく親しまれる公園となるよう努めてまいります。</p>

市長と語る会(甲東中校区)対応方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	山之口町町内会	<p>天文館では文化通りの電線の地中化が進んで、非常にきれいになったが、それ以外の場所は電線が混雑している。電線の地中化は美観より、防災の観点から必要と考えている。</p> <p>道路も狭く、ビルの高層階で火事があった場合、はしご車が使えないこともあると思うため、電線の地中化は必要と考えている。</p> <p>景観からも、センテラス天文館がオープンして、特に電線が目を引きようになったように感じる。防災、景観、ひいては観光面にも良い効果があると思う。</p> <p>また、違法な電線もあるようで、そういった対策にもなるものと思っている。</p> <p>世界でも日本は電線の地中化は遅れているようだが、福岡の中洲などは地中化が進んでいるようである。鹿児島でもぜひ、地中化を推進していただきたい。</p>	<p>海外の観光地は電線が少なく、本市も電線の地中化が推進できたら良いと思う。</p> <p>一方で、電線の地中化はかなり大きな費用がかかることや、電力会社の協力が不可欠であり、鹿児島市では国の無電柱化計画に則り、災害時に電柱が倒壊し、交通機能が停止するような幹線道路を5路線指定しているところである。</p> <p>まずは、この5つの路線の無電柱化を確実に推進し、その後、天文館を含めたほかの地域に着手できないか検討していきたい。</p>	建設局	<p>【建設局】 市長回答のとおり。</p>
3	天文館連絡協議会	<p>飲食店を対象としたポイント事業は、使えるお店が少なかったり、ポイントがあと付けになるなど、少し使いづらいとの声も聞かえる。引き続き、コロナ禍の支援をしていただくとともに、より利用者が使いやすいポイント事業を実施していただきたい。</p>	<p>ポイント事業については、他の業種から「なぜ飲食業だけなのか」と、ご意見をいただくが、コロナ禍で厳しい状況は事実であるため、限られた予算で、飲食店専用のポイント事業を実施してきた。その中で県から第三者認証店を優遇するよう要望があり、併せて、夜の消費額を向上させるため、夜間の利用についてはさらにプラスを設ける制度としたことから、あと付けのポイント制度となったところであり、ご理解いただきたい。</p> <p>また、「全国チェーンのキャッシュレスの方が」というご意見もいただくが、その場合、ネットショッピングで利用され、県外にお金が出ることが予想されるため、地域でのお金の循環を考え、現在の方法にしたところである。</p>	産業局	<p>【産業局】 市長回答のとおり。</p>

市長と語る会(甲東中校区)対応方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	天文館連絡協議会	<p>天文館の繁華街では、呼び込みが横行している。以前から警察に相談はしているが、法令に違反しないため、指導できないと言われている。</p> <p>県外のお客様からは、見苦しいとご指摘をいただく。</p> <p>呼び込み行為は、天文館の景観も悪くしていると思うので、市として何か対応を検討していただきたい。</p>	<p>付きまとい行為は、条例で規制ができたと思うが、営業活動の自由も憲法で保障されているため、相手を掴んだり、付きまったりするなど迷惑や不快感を与えるまで至らない、立ったままでの声かけ行為をどこまで条例で規制できるかの問題がある。</p> <p>まずは、今の条例で対応できる部分について、警察と連携して取り組んできたい。</p> <p>また、呼び込みを行っているお店には行かないようにするなどの、啓発活動を進めていければと思っているので、そういった啓発活動の方法について考えていきたい。</p>	危機管理局	【危機管理局】 市長回答のとおり。
5	校区町内会役員	<p>町内会の会員を募る際に、「なぜ、入らないといけないのですか」「町内会は何のためにあるのですか」と聞かれ、活動状況を伝えてはいるが、賃貸マンションは、ほぼ加入率は0で、最近は一軒家の人も町内会に入らない人がいるようだ。</p> <p>今後の活動も含めて、市の求める町内会の活動について教えていただきたい。</p>	<p>町内会の加入率は、どこの地域でもある課題であり、転入手続きに窓口へ来る際に、町内会の案内をしているほか、不動産の管理会社等に対して、賃貸に入る方に勧めていただくようお願いしている。</p> <p>今年の4月から若年層への加入促進を図るため、市のホームページに町内会区域図を公開するとともに、加入申込フォームを設け、デジタルを活用した取組を始めたところである。</p> <p>そのほか、市内の町内会加入につながった好事例の紹介を8月から始めており、マンションが建つ際に、施主や地主の方をお願いして一括で加入してもらったという事例なども掲載している。</p> <p>また、役員のなり手の確保も重要な課題であると考えており、町内会の役員の負担を軽減するため、各町内会で共通する会費の徴収等の業務について、ITの活用を検討しているところである。</p>	市民局	【市民局】 市長回答のとおり。

市長と語る会(甲東中校区)対応方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	山下校区 コミュニティ協議 会	<p>市電の延伸については、かんまちあからドルフィンポートを通り、魚市場から県庁までの海岸線を結ぶ、大きな外周のルートを検討してほしい。そうすることで、雄大な桜島と錦江湾を市電のスピードで臨め、観光やゼロカーボンシティかごしまにも一役買うと考えている。</p> <p>この延伸案について市長の見解を教えてください。</p>	<p>市電については、観光鹿児島顔とも言える存在で、また、CO2の削減が叫ばれる中、排出の少ない公共交通機関として期待される場所である。</p> <p>一方で、沿線人口が減っていることや、コロナの影響で乗客が減ってきていることから、現在、交通局の経営が非常に厳しい状況にある。交通局の使命として、市民の皆様の普段の足としての機能である生活路線を、どれだけ守れるかが大切で、そのような中で、観光路線で赤字を出すことができない状況である。</p> <p>市電の延伸に関しては、本港区エリアの4ルート案が検討に残っている段階にあり、まずはこの4ルート案が本港区エリアで何ができるのかなど、整理された段階で費用便益分析を行い、費用対効果があるかどうかを見定めたい。その他の案についてはその後の話になるものと考えている。</p> <p>一方で約20年前に市内全域18地区を対象に路面電車の延伸を検討したことがあり、そのときに鴨池新町地区も検討し、最終的に谷山地区が残ったが、費用便益分析を行ったときに「1」を大きく下回り、支出した費用の半分ほどしか利益がないとのことで、最終的に市電の延伸を断念をした経緯がある。</p> <p>今後、市内全域を目指した市電に関しては、まずはこの本港区エリアに関して、その需要が確定した段階で、費用便益分析を行う。そのうえで、そのほかの路線に関しては、費用対効果があるのかどうか。そういった面で判断をせざるをえないと考えている。</p>	企画財政局	【企画財政局】 市長回答のとおり。

市長と語る会(甲東中校区)対応方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	NPO法人鹿児島県ノルディック・ウォーク連盟	<p>鹿児島県人の医療費、介護費を下げるために、鹿児島県人の歩く速さが遅い、歩く姿勢が悪い、歩く歩数が足りない、全国平均に比べて非常に悪い。これは、医療費、介護費の費用負担を増やしている。</p> <p>現在、5カ所で「公民館講座のノルディックウォーク教室」を実施させていただいており、「歩く姿勢をよくする」「早く歩く」を習慣づけるための練習の場とさせていただいている。</p> <p>また、ただ歩くだけではなく、歩くと見えてくる鹿児島市内の良いところを、知ることができ、それが郷土愛に繋がると考えている。</p> <p>公民館講座を、さらに増やして頂けるよう検討していただきたい。</p>	<p>これから持続可能な社会保障を構築していくうえで、市民のみなさん自身ができるだけ長い間、健康であることが非常に重要と思っている。</p> <p>健康寿命と平均寿命の差が、男性で8歳程度、女性で14歳程度あり、その間は、「自分で歩けない」「自分では物が食べられない」というのが現状のようである。</p> <p>そのような状況で、歩くというのは非常に重要であると思っている。</p> <p>ノルディック・ウォークは年配の方でも膝への負担が少なく、良い取り組みだと思っている。</p> <p>各地域公民館の講座内容は、各地域にお住いの皆様がどういったことを求めているかということを含めながら毎年度決定しており、今回のご意見も踏まえながら、ニーズに応じて、次年度の講座を構築する際に他の地域での開設も含め検討してまいりたい。</p>	健康福祉局 教育委員会	【健康福祉局】【教育委員会】 市長回答のとおり。

市長と語る会(甲東中校区)対応方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	甲東中学校PTA執行部	<p>今年度の甲東中1年生の生徒数は88人で、通常であれば1クラス40人学級のため、3クラスになるが、甲東中は2クラスとなっている。</p> <p>内訳は80名が普通学級、8名が特別支援学級で、特別支援学級の生徒は別計となり、クラスの人数に含まれず、結果1クラス44人2クラスのパンパンの状況でコロナ禍を過ごしている。</p> <p>特別支援学級の生徒は国語、数学、英語は特別支援学級で別に受けるが、それ以外の課目(理科、社会、音楽、体育など)は、普通学級と一緒に44名で授業を受けている状況である。</p> <p>そうなると、例えば、理科の授業では40人分の実験器具しか準備ができず、4個は準備ができない状況が生じているようだ。子どもの文教対策、質の高い教育といった面では、甲東中は対応できていないのではないかと考える。</p> <p>子どもたちが全員、平等に教育を受けられるように、また学力向上のためにも、特別支援学級の生徒も別計とせず、算定していただきたい。</p>	<p>生徒の数に応じたクラス数については、国(文科省)の方でどうなっているか。さらに、特別支援学級の生徒がすべての授業を別に受ける場合と、一部若しくは大半を通常学級で受ける場合とどのように算定するのか、一度調べさせていただきたい。</p>	教育委員会	<p>【教育委員会】</p> <p>小・中学校における学級編制は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」及び「同施行令」に基づき、小学校は1学級35人※(経過措置あり)、中学校は1学級40人、特別支援学級は1学級8人を標準として編制することとなっているが、通常学級と特別支援学級の学級編成は、授業の時数によらず、それぞれに編制することになっていることから、特別支援学級の児童生徒は別計として算定することとなっている。</p> <p>なお、学級編制基準の見直しについては、全国都市教育長協議会を通じて、国へ要望しているところである。</p> <p>理科の実験等については、教室内でグループ単位で行うことが多く、顕微鏡など一人一台使用する実験器具は、グループ内で相互に交替して使用するなどの対応をしているところである。</p> <p>特別支援学級と通常の学級の交流については、特別支援学級の児童生徒の実態に応じて年間計画に位置づけ、計画的に実施し、達成感を持ちながら充実した学習にすることが重要であると指導しているところである。</p> <p>※小学校1・2年生は県独自の基準で、1学級30人を標準として編制</p>
9	天文館連絡協議会	<p>カラス対策として、折り畳み式カーゴや色付きのゴミ袋、カラスの嫌う旗を置くなど、社会実験などを行っているが、今後の鹿児島市の政策として、どのような形でカラス対策を進めていくのか考えを聞かせていただきたい。</p>	<p>カラスの対策については、これまでもいろんな方法で実験を行っており、どのような方法がコストが安く済むのか実験を積み重ねている。</p> <p>今年度はカラスの被害防止プレートの実験を行っており、来年度以降はプレート実験の成果を検証し、効果がわかれば全体に広げていく、といった取組を皆様と協力しながらやっていきたい。</p> <p>また、例えば、他でこういった方法が効果があったなどの情報があれば、教えていただければありがたいと思っている。</p>	環境局	<p>【環境局】</p> <p>市長回答のとおり</p> <p>カラス対策については、現在、天文館の一部地区において被害防止プレートの実験を実施しており、今後、効果の検証を行うこととしている。</p> <p>なお、検証結果に基づく対策の進め方のほか、他の効果的な方法などについては、同地区の町内会等の方々で構成する「天文館地区カラス対策協議会」において、引き続き、協議を行っていきたいと考えている。</p>

市長と語る会(甲東中校区)対応方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	校区町内会役員	<p>体育館とスタジアムの件はいつまで協議し、いつまでに進めたいのか市長の見解を聞かせていただきたい。</p>	<p>鹿児島市が進めているスタジアムの構想は、天文館を中心とする中心市街地の活性化のために進めているもので、中央駅から甲突川、天文館、本港区エリア、桜島、鹿児島駅のルートを歩いて楽しめる、そして買い物を楽しみながら、1日楽しむことができるエリアの仕掛けの核になる施設と考えている。</p> <p>一方で、本港区エリアは県の土地であり、そして港湾に関することは県の権限になっており、どのエリアにどういったものを建てて良いか県の許可が必要なため、県との連携が不可欠なものとなっている。</p> <p>その中で、今月スタジアムに関する中間とりまとめを発表し、県にも丁寧に説明をしているところである。具体的には浜町、住吉、ドルフィンポート跡地の3候補地について、建設費、維持費、経済効果などを説明して、県から疑問点、課題についてお尋ねを受け、それについて丁寧に回答している状況である。</p> <p>県は、年内にも本港区エリアのまちづくり検討委員会を立ち上げ、本市、民間から委員が入り、今後の取組を検討していくことになる。</p> <p>その中で、本港区エリア全体、スタジアム整備について県と市、民間の方々に入っていたいで話を進めていく段階にあるため、いつまでと時期をお示しすることは困難あるが、その調整ができ次第、着実に前に進めていきたい。</p>	観光交流局 建設局	<p>【観光交流局】 【建設局】 市長回答のとおり。 本港区エリアの利活用に係る検討委員会は、令和4年12月23日に第1回検討委員会が開催された。今後も検討委員会の開催が予定されている。</p>

市長と語る会(甲東中校区)対応方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	山下校区コミュニティ協議会	<p>甲東中の生徒数減少の要因は、学区制の制限が緩和されたことや、生徒数が少なく希望の部活動ができないこと、山下小からは私立校へ通学する生徒が多い現状などが要因だと考えられるが、そこを打破してする案を行政で考えていただきたい。</p>	<p>地域の小学校、中学校はその地域のコミュニティの中心であり、生徒がどれだけ集まるかが地域の活力の一つのバロメーターになると考える。</p> <p>その中で、親の視点から考えるとその学校が行かせたい学校であることが重要であり、魅力ある学校づくりのため、こういったことがやりたいという意見が積極的に上がるような仕組み作りを考えていきたい。</p> <p>なお、中学校の部活については、今後5年、10年で大きく変わる可能性が高い分野となっている。部活の地域移行という言葉が最近聞かれたことがあると思うが、部活の教員の負担が大きいことが発端で、特に休日の部活について、学校単位に限らず、地域単位で行う方法を国の方では目指しているようである。</p> <p>指導者や場所などの課題は山積みであるが、もし、この地域移行が本格的に始まった場合、生徒数の少ない学校は、学校単位では、団体競技の部活が成立しにくい、1つの可能性としては3～4つの校区の地域で地域スポーツクラブができ、そこでいろんな部活ができるという可能性があると思っている。</p> <p>部活の地域移行は、教員の負担を軽減や、今回のように小規模校の団体競技などの部活が成立しにくくなるといった課題を乗り越えられると思っているので、そういった議論にも注目していきたい。</p>	教育委員会	<p>【教育委員会】 市長回答のとおり 魅力ある学校づくりについては、実現を図るために、来年度から市内の全ての学校に設置される学校運営協議会において、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めることとしている。</p> <p>部活動地域移行については、国は8年度から休日の部活動を地域に移行するため、5年度から7年度までを改革集中期間と位置づけている。</p> <p>本市でも5年度から、モデル事業の実施や検証、生徒・保護者への希望調査や運営団体や教職員の意向調査等を行っていく予定である。</p> <p>各学校で実情が異なることから、近隣の学校が拠点校に集まる形式や学校の部活動を全て運営団体に委任する形式など、持続可能な活動となるよう検討していく。</p>
12	NPO法人鹿児島県ノルディック・ウォーク連盟	<p>鹿児島マラソンは非常に盛んであるが、他の地域ではマラソン大会と同時にウォーキング大会を開催しているところもある。鹿児島県では指宿、霧島はウォーキング大会は非常に盛んである。</p> <p>鹿児島市でも「ウォーキング大会」の開催を検討していただきたい。</p> <p>特に鹿児島市の兄弟都市の鶴岡市は、日本で最も古くからノルディック・ウォーキングの大会を開催しており、是非、鹿児島でもノルディック・ウォークだけでなく、ウォーキング大会そのものへ、私どもがお手伝いをする形でご検討いただきたい。</p>	<p>ウォーキング大会は健康増進に役に立つという一方で、安全を確保したルートをどう組むかという課題や、中心部での実施か、郊外での実施かなどを含めて慎重に検討すべき課題があるため、他都市の事例をご紹介いただければ参考にしたと思う。</p>	観光交流局	<p>【観光交流局】 市長回答のとおり。</p>